



今月の記事

- 新年度の愛の園
- 先月からの愛の園
- 合格しました
- 4～5月の予定



園長
武藤直二

2015年度の愛の園

今年も4月1日の全体職員会から新しい年度がスタートし、宮崎理事長は講話の中で「人の命も物も両手でいただきなさい。」という言葉を紹介して次のように話されました。

「賞状をいただくときは恭しく両手でいただき、赤ちゃんを抱くときは優しく両手で抱き上げる。そこには丁寧さがある。スピードや合理性を優先させようとするために、自分や他人の命、また物をぞんざいに扱うことにつながっていないかと思わされる。それと共に私たちも仕事への慣れから、知らず知らずのうちに高齢者を見守り介護する中で片手で接し始めていないだろうか。そのために大切なものを見落としていないだろうか。人に対する気持ちや仕事に対する姿勢において、両の手を用いたい。当たり前のことを心を込めて実行する。与えられる一つ一つの命も物も両手でいただく。丁寧さを楽しく生きるには、日々新しい気持ちで仕事に取り組むことだと思う。」

愛の園は今年度も「丁寧さ」をキーワードに、認知症の方々へのケアを進め、人生の最後の瞬間までその人らしく尊厳をもって過ごしていただけるよう努めていきます。また、利用を制限させていただいたショートステイは従来通り多くの人にご利用いただけるよう職員体制を整えました。フレッシュな職員が加わり、専門資格であるケアマネジャー、介護福祉士の資格を取得した職員も増し加えられました。

新しい年度を皆さんと共に豊かに過ごしてまいりますと願っています。



聖マリア院で宮崎理事長と懇談する2～4月採用の新入職員の皆さん。これからよろしくお願いたします。



5月人形が飾られました。まだ出回っていない菖蒲の代わりに、入居者Yさんのご家族が届けてくれたアイリスを添えました。

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



少し肌寒く曇り空でしたが、田辺市の動鳴気峡で満開の桜を見てドライブをしてきました。4/1



雨が止んだ隙に桜を見に行きました。とても喜んで下さり短い時間でしたが満喫できました。4/5



今年も入居者、ボランティアと共にイースターエッグを準備。袋に入れてカードを添えました。4/4



家族の会滝本会長の立会いで県議選の不在者投票を行い28名の方が投票されました。4/7



合格しました！ 介護福祉士 & ケアマネジャー

昨年度も専門資格である介護福祉士とケアマネジャーに挑戦し、合格することができました。喜びの声をご紹介いたします。

この度介護福祉士の試験に合格でき、この機をまた私自身のスタートラインと考えて頑張っていきたいと思います。

私は、実技講習を受けてから筆記試験を受けました。講習では、何回かやり直すこともありましたが、他の介護施設に勤務されている方と、コミュニケーションをとりながら、また叱咤激励されながら、楽しく行うことができました。これからも入居者の方々と寄り添い、一緒に過ごしている時間を大切にしていきたいと思います。

稗田健人(介護福祉士)



昨年の10月に介護技術講習会を受講しました。和歌山県内のいろいろな地域から同じような仕事をしている方々と知り合うことができ、交流を持ち情報交換等ができたことは有意義な経験だったと思います。

その時に先生からもうそろそろ勉強を始めた方がいいですよとアドバイスいただきましたが、結局ほぼ試験の10日位前までのんびりしていました。自信は全くなかったのですが、無事合格することができて良かったです。

木村しずか(介護福祉士)



愛の園に入職し3年間の実務経験を経て介護福祉士試験に合格することができました。入職した当初は介護の仕事の経験もなく不安だらけの毎日で、自分自身が仕事の中に怪我

をしてしまった時にはこの仕事を続けていく自信も失いつつありましたが、これまで仕事を続けてこられたのも先輩方の指導と支えのおかげだと改めて思い感謝しています。

大変なこともあります。とてもやりがいのある仕事だということを、今後私のように経験なく仕事に就く方に伝えていけたらと思います。

高井いづみ(介護福祉士)



試験勉強は昨年の5月から始めました。子供が二人いるので試験勉強の時間を作るのが大変でしたが、なるべく毎日1時間程度行えるように頑張りました。

模試に挑戦した時、時間内に終われず、答え合わせをしても合格ラインに届かず、落ち込む時もありました。本試験が終わり、手応えも今一つだったのですが、答え合わせをすると合格ラインより高い点数だったので安心したのと同時に、継続して試験勉強を行えたことに嬉しさが込み上げました。

試験勉強も大変でしたが、合格してからの研修がさらに大変で体調を崩しながらもなんとか終わることが出来ました。今回の経験を活かし、日々の業務に繋げていけたらと思います。

吉田征弘(ケアマネジャー)

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

4～5月の愛の園

- 12(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 14(火) マリア会
- 15(水) 手芸サークル
- 16(木) やまびこ会
- 17(金) 社協ボランティア来園
- 19(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 21(火) ひまわり会
- 22(水) 歯科診療
- 23(木) やまびこ会
- 26(日) 日曜礼拝(聖餐式)
- 28(火) マリア会
- 30(木) やまびこ会

- 3(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 6(水) マリモと愉快的仲間たち来園
- 7(木) やまびこ会
- 10(日) 日曜礼拝(聖餐式) おめかしクラブ

編集者から

「特養で年間退所の9割を看取る」このテーマの記事を福祉新聞で読みました。『ターミナル(終末期)ケアを行ううえで特別な事をする必要はない。大切なことは昨日まで行ってきたケアを誠実に、確実に、その方のことを考えて行うこと。』

この考え方はターミナルケアを行うときに職員が意識しなければならないことだと思います。特別養護老人ホームは終の棲家としての大事な役割があります。だからこそ、最後までその人らしく過ごせることをよく考える必要があります。この事を意識して日々の仕事に取り組むことが重要であり、今年度もターミナルケアについての園内研修を行うことになっています。(C)